

松山圏域の相談窓口

<医療機関>

○支援拠点機関

松山リハビリテーション病院 高次脳機能障害支援室

TEL：089-975-7427

○相談支援協力機関

伊予病院 医療福祉支援センター

TEL：089-983-6877

<支援団体>

愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」

TEL：090-6284-5482

<その他> ※お住まいの地域の窓口にご相談ください。

保健所

・中予保健所 健康増進課 精神保健係 TEL：089-909-8757
(伊予市・東温市・久万高原町・松前町・砥部町)

・松山市保健所 保健予防課 TEL：089-911-1816

保健センター

・伊予市保健センター TEL：089-983-4052

・東温市健康推進課 TEL：089-964-4407

・久万高原町久万保健センター TEL：0892-21-2700

・松前町健康課 TEL：089-985-4118

・砥部町保健センター TEL：089-962-6888

高次脳機能障害の回復には、周囲の理解とサポートが必要です。
「もしかしたら…」と思ったら抱えこまずにご相談ください。



愛媛県中予保健所
ホームページへアクセス



こうじのうきのうしょうがい 高次脳機能障害 ってなんだろう？



あなたやあなたの周りに
このような方はいませんか…??

Q高次脳機能障害とは？

- 病気や事故などで脳がダメージを受けたことにより、注意力・記憶力・言語・感情のコントロールなどがうまく働かなくなる**認知機能の障害**です。
- 以前できていたことがうまくいけなくなり、**日常生活または社会生活に支障**をきたします。
- **外見からはわかりづらい**ため、周囲から理解されにくく、当事者や家族は辛い思いを抱えやすいです。

Q認知症や発達障害と何がちがうの？

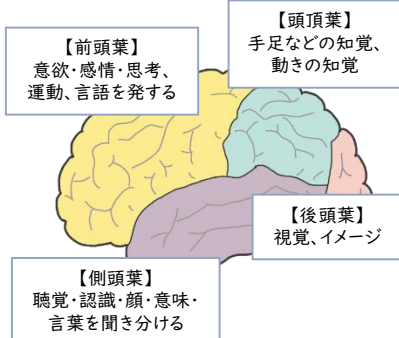
※記載している内容はあくまでも一般的な内容です。

症状や障害の程度は人により、様々な症状が組み合わさっていることもあります。気になる症状がある場合は専門の医療機関に受診し、相談しましょう。

【認知症】

- 高次脳機能障害も認知症も、**脳の損傷や脳の機能低下部位によって症状が現れます(右図)。**
- 認知症は病状が**進行**していくが、高次脳機能障害は基本的には**進行しない**と言われています。

大脳皮質とその役割



【発達障害】

生まれつきの障害で、発達に伴い症状が変化します。

症状は一人ひとり違い、症状は多様です。

外見からはわかりにくい「**見えない障害**」とも言われています。



Q主な症状と対応方法って？

以前と比べてこのような変化はありませんか？
脳の病気やケガの後は、以前よりも情報の処理に
労力が必要で頭が疲れやすくなっています。

	症状	当事者の対策	周囲の対応方法
社会的行動障害	● 感情や行動がうまくコントロールできない ● 我慢ができず、思ったことをすぐに口に出してしまう ● 無制限に食べたり、お金を使ったりしてしまう	● 行動する前に数秒数える等、待つ練習をする ● 必ず周囲に相談してから行動する ● 周囲と一緒に行動のルールを決める	● 不適切な行動は冷静に指摘し、責めない ● できたことを具体的にほめる ● イライラに周囲が気づき場所や話題を変える ● 本人ができることを役割として設定する
遂行機能障害	● 優先順位がつけられず、何から手をつけていいかわからない ● 臨機応変や応用が苦手で急な変更があると混乱しやすい。 ● 時間の見積もりが苦手で遅刻をくりかえす	● 手順書を見ながら、その通りに作業をする ● やることリストを作成する ● 時間にゆとりをもって計画を立てる ● 計画外のことが起こったときの対策を事前に考えておく	● 行う順番を書いた手順書などを作成する ● 一緒に作業などの状況をこまめに確認する ● 急に変更したり、急に新しい指示をしない ● わからないことは質問してもらうよう習慣づける
注意障害	● 気が散りやすい・集中力が続かない ● 見落とし・聞き漏らし・勘違いが多い ● ひとつ気になることがあると、他のことが頭からぬけてしまう ● 疲れやすい	● 自分に合った集中しやすい環境を見つける ● 時間に余裕をもって取り組む ● 一つずつ作業や行動をすすめる ● タイマーやアラームなどを活用する	● 同時に複数のことを伝えない ● 一つずつ伝える ● ダブルチェックをする ● 集中しやすい環境を整える(静かで人が少ないところ等) ● こまめに休憩を取り入れる
記憶障害	● 病気やケガの前に経験したことを思い出すことができない ● 今日の日付を間違える ● 一度にたくさん覚えようとすると一部忘れる	● 手帳・カレンダー・スマートフォン・アラームを活用する ● メモをする、見て確認することを徹底する ● 日課を決め、同じパターンで動けるようにする ● 繰り返し行動、経験して習慣づける	● 書いて伝える ● 複雑なことは紙に書いて残す ● 手帳等を見るように促す ● 習慣になるには時間がかかることを理解する ● 忘れていることを感情的に責めない